

平成19年度
毒物又は劇物の流出・漏洩事故情報一覧

整理 番号	発生年月日	発生都道 府県名	毒物又 は劇物 の別	毒物又は劇 物の名称	事件の概要	事件発生事業所等 の登録等の状況	事件の原因 (推定含む)	被害状況
1	2007/4/2	山口県	毒物	弗化水素 (60%)	窒素流量計の解体中、機器のナットを緩めたところ、配管から弗化水素酸(60%)が漏洩し、作業員にかかった。	製造業 (国)	気化器からの無水弗酸と排ガス配管内の水分によりドレン化した弗酸水溶液が、流量計配管内に溜まっていたため。	作業員1名が指先に薬傷
2	2007/4/2	三重県	劇物	水酸化ナトリウム (14%)	脱脂槽への給水バルブの閉め忘れにより水酸化ナトリウム(約14%)を含む廃液が槽から漏洩し、雨水用側溝を通じて工場外へ流出した。	業務上取扱者 (届出不要)	作業手順の遵守を怠ったため。	特になし
3	2007/4/5	埼玉県	劇物	メソミル	メソミルで死んだと見られるヒヨドリの死骸が見つかった。	不明	不明	特になし
4	2007/4/16	岐阜県	劇物	硝酸 (20%)	火災により、約20%の硝酸を含む溶液約6立方メートルとその他の溶液約5立方メートルが流出した。	業務上取扱者 (届出不要)	火災のため。	健康被害はなし
5	2007/5/7	埼玉県	劇物	一水素二弗 化アンモニウ ム	一水素二弗化アンモニウムの処理作業中に発泡し、白煙があがった。	業務上取扱者 (届出不要)	廃棄方法の知識不足。	特になし
6	2007/5/11	佐賀県	劇物	メタノール	工場のタンクから約700リットルのメタノールがオーバーフローのため流出し、同社敷地外へも一部流出した。	業務上取扱者 (届出不要)	地下タンクへの送液中にタンク容量を超える量を送り出したため。	特になし
7	2007/5/17	岐阜県	劇物	硫酸 (36%)	都内の輸入業者が輸入した工業用硫酸バッテリーを岐阜県の倉庫で保管中に誤って破損し、内容物である硫酸(36%)22.2リットルが漏えいした。	業務上取扱者 (届出不要)	倉庫業者が誤って保管していたバッテリーにフォークリフトを接触させて破損したため。また、輸入業者による製品の取扱注意についての説明が不足していたため。	特になし

平成19年度
毒物又は劇物の流出・漏洩事故情報一覧

整理 番号	発生年月日	発生都道 府県名	毒物又 は劇物 の別	毒物又は劇 物の名称	事件の概要	事件発生事業所等 の登録等の状況	事件の原因 (推定含む)	被害状況
8	2007/5/17	新潟県	劇物	過酸化水素 (31%)	過酸化水素(31%)を積載したトラック が走行中に横転したため、容器が 破損し、過酸化水素約5リットルが 道路上に漏洩した。	業務上取扱者 (届出不要)	交通事故のため。	交通事故により 運転員1名負傷。
9	2007/5/18	富山県	劇物	硫酸 (90%以上)	事業所内の濃硫酸送液配管の外部 腐食とポンプ起動時の配管内圧に より、ピンホール大の穴があき、濃 硫酸が工場内及び隣接の駐車場・ 菊畑に飛散した。	業務上取扱者 (届出不要)	設備の維持管理の不足。	隣接の駐車場の 車、菊畑に被害
10	2007/5/23	三重県	劇物	水酸化カリウ ム (ニトロエタン と水酸化カリ ウムにより形 成された不安 定物質)	5フッ化プロパノール(5FP)精製 時、粗5FP中和過程で発生する中 和熱等による液温の上昇が生じ、 粗5FPに含まれる不純物ニトロエタ ンと水酸化カリウムにより形成され た副生成物ニトロエタンカリウム塩 (不安定物質)および5FPのK塩が 発熱分解し、系内圧が上昇して爆 発が生じた。	製造業 (国)	プロセス変更時及び組成変更 時の変更管理の不備。	近傍施設の職員 2名が擦り傷等 の軽症 周辺民家等が爆 風による被災
11	2007/5/30	広島県 東京都	毒物	シアン化ナト リウム	シアン化ナトリウムの原体14トン を積載したトラックが追突を受け停 止した。 (追突事故では落下も飛散もしてい ないが、現場処理により漏洩するお それがあったもの)	販売業 (一般)	特になし。	特になし
12	2007/6/3	埼玉県	劇物	アンモニア	配管塗装工事中に配管を破損し、 アンモニアガスが漏洩した。	業務上取扱者 (届出不要)	工事中の不注意。	特になし

平成19年度
毒物又は劇物の流出・漏洩事故情報一覧

整理 番号	発生年月日	発生都道 府県名	毒物又 は劇物 の別	毒物又は劇 物の名称	事件の概要	事件発生事業所等 の登録等の状況	事件の原因 (推定含む)	被害状況
13	2007/6/6	徳島県	劇物	メソミル (0.045%)	メソミルの希釈液(0.045%)200リットルを積載した交通事故車両を撤去する際、約100リットルが道路上に流出した。	業務上取扱者 (届出不要)	事故車両撤去作業時の不備。	撤去作業員が、希釈液を頭から浴びたが、健康被害なし
14	2007/6/7	北海道	劇物	アンモニア	工場廃墟内にあった冷蔵庫から冷却溶媒の液化アンモニアが漏れた。	業務上取扱者 (届出不要)	工場内に以前使用していた冷蔵庫が残されていたため。	特になし
15	2007/6/15	神奈川県	劇物	アンモニア	アンモニア中型高圧ガス容器(444.5リットル)の漏れ検査を実施していたところ、容器弁が外れ、容器内の液化アンモニアが226kg漏洩した。	製造業 (国)	本来、容器弁に装着してあるアウトレットキャップが装着されていなかったため、作業中に容器弁が外れてしまったものの。	当該工場職員1名が入院加療
16	2007/6/20	東京都	毒物	水銀	学校校舎脇のコンクリート上において、校内の研究室が所有する水銀含有機器の破損により生じたと見られる水銀が飛散しているのが発見された。	業務上取扱者 (届出不要)	毒物劇物の不適切な保管管理及び廃棄方法。	排水枴汚泥の汚染
17	2007/6/20	東京都	毒物	弗化水素 硝酸 (廃棄物)	弗化水素と硝酸を含む廃液を廃棄用のポリタンクに注入したところ、急激な噴煙が発生して溶液の小滴がポリタンクの注入口から飛散し、学生の顔の一部に付着した。	業務上取扱者 (届出不要)	廃液タンクに残留していたわずかなエチルアルコールが硝酸との化学反応により発熱し噴煙が発生したと考えられる。	学生6名が病院に搬送され、うち1名が1泊の入院
18	2007/6/21	愛媛県	劇物	水酸化ナトリウム (48%)	配管から約20リットルの水酸化ナトリウム(48%)が漏洩した。	販売業 (一般)	配管の腐食のため。	特になし

平成19年度
毒物又は劇物の流出・漏洩事故情報一覧

整理 番号	発生年月日	発生都道 府県名	毒物又 は劇物 の別	毒物又は劇 物の名称	事件の概要	事件発生事業所等 の登録等の状況	事件の原因 (推定含む)	被害状況
19	2007/6/22	埼玉県	劇物	塩素	地下水くみ上げのため揚水ポンプ 交換にあたり、腐食していたパイプ の繋ぎ目から塩素ガスが漏洩した。	業務上取扱者 (届出不要)	配管の腐食のため。	作業員4名が医 療機関受診
20	2007/6/26	山口県	劇物	臭素	臭素を受入タンクから計量槽へポン プで移送する際に、臭素が移送ポン プのパッキン部から漏洩した。	製造業 (国)	接液部分の内側ケーシング 本体(ポンプ本体)が、摩耗に より亀裂が生じたため。	特になし
21	2007/6/28	愛知県	劇物	アンモニア	船舶からの荷役中、タンクの安全弁 が作動し、アンモニアガスが大気中 に噴出した。	製造業 (県)	担当船員の不注意	特になし
22	2007/7/2	愛知県	劇物	硝酸 (67.5%)	メッキ工程の濃硝酸槽の容量を減 らすため、プラスチックケースに亜 鉛を入れて、針金でぶら下げて、 ケースが沈まないよう濃硝酸槽の かさ増しをしていたが、針金が劣化 により切れてプラスチックケースが 沈みケース内に濃硝酸が流入し、 亜鉛と反応することにより刺激臭ガ スが発生した。	業務上取扱者 (電気めっき業)	濃硝酸槽のかさ増しの実施と 針金の劣化	特になし
23	2007/7/6	長野県	劇物	水酸化ナトリ ウム (25%)	25%水酸化ナトリウム溶液が、ドラ フトチェンバー用スクラバーから漏 れ、側溝を通じて敷地外へ流れ出 た。	業務上取扱者 (届出不要)	ドラフトチェンバー用スクラ バーの循環装置の不具合。	特になし
24	2007/7/13	鳥取県	劇物	水酸化ナトリ ウム (8.5%)	バルブの誤操作による流出及びそ れに伴うタンクの破損により漏洩し た水酸化ナトリウム(8.5%)約150立 方メートルが防液堤から放流排水と して海域に流出した。	業務上取扱者 (届出不要)	バルブの誤操作	作業員1名が被 液し、2～3度の 薬傷

平成19年度
毒物又は劇物の流出・漏洩事故情報一覧

整理 番号	発生年月日	発生都道 府県名	毒物又 は劇物 の別	毒物又は劇 物の名称	事件の概要	事件発生事業所等 の登録等の状況	事件の原因 (推定含む)	被害状況
25	2007/7/13	東京都	劇物	臭素	予備校の化学の授業中、教員が誤って臭素の容器を落として容器が破損し、臭素が漏洩した。	業務上取扱者 (届出不要)	取扱上の不注意のため。	生徒9名がのどの痛み
26	2007/7/20	東京都	毒物	ジクワット・パラコート液剤 (指定令第1条15の2号)	流通段階から液漏れしているジクワット・パラコート剤があるとの苦情があった。	輸入業 (国)	容器不良(キャップとボトルのかみ合わせ不具合)による漏洩。	特になし
27	2007/7/23	三重県	劇物	過酸化水素 (24.3%)	11.9%のギ酸共存下で、24.3%の過酸化水素が分離層内壁の錆と接触して急激に分解、大量のガスと熱が発生し爆発を引き起こした。	業務上取扱者 (届出不要)	タンクの腐食。	作業員1名が全身熱傷及び頭部挫傷の重症
28	2007/7/25	新潟県	劇物	水酸化ナトリウム (50%)	水酸化ナトリウム(50%)をタンクローリーで運送している最中に、約50リットルが道路上に漏洩した。	業務上取扱者 (大量運送)	配管バルブの閉め忘れ	特になし
29	2007/7/25	和歌山 県	劇物	メチダチオン (指定令第2条54の2) トルフェンピラ ド (指定令第2条28の4)	畑に農薬散布をしていたところ、ホースが破損したため、農薬が漏洩し、畑に隣接した河川に流出した。	業務上取扱者 (届出不要)	農薬散布用ホースの劣化(推定)	河川の汚染
30	2007/7/26	北海道	劇物	過酸化水素 (35%)	出荷充填設備へ配管移送中、配管バルブから過酸化水素(35%)60リットルが地面上に流出した。	製造業 (都道府県)	バルブガスケットの劣化	特になし

平成19年度
毒物又は劇物の流出・漏洩事故情報一覧

整理 番号	発生年月日	発生都道 府県名	毒物又 は劇物 の別	毒物又は劇 物の名称	事件の概要	事件発生事業所等 の登録等の状況	事件の原因 (推定含む)	被害状況
31	2007/7/27	東京都	劇物	水酸化カリウ ム (48%) モノエタノー ルアミン 水酸化ナトリ ウム (50%) アンモニア (28%)	伊豆沖にてコンテナ船とバルク船の 衝突事故が発生。コンテナ船には 都内輸入業者が輸出した劇物が積 載されていた。神奈川県のコテナ ヤードに仮置きされたコンテナを確 認したところ一部の劇物が漏えいし ていた。	輸入業 (国)	バルク船とコンテナ船の衝突 によるもの。	特になし
32	2007/7/28	大分県	劇物	硫酸 (98%)	硫酸工場の配管の一部に亀裂が生 じ、硫酸(98%)6立方メートルが漏 出し、うち約0.7立方メートルが海域 へ流出した。	製造業 (国)	配管の老朽化及び非常用 ピットの不適切な管理	特になし
33	2007/7/30 2007/8/6 2007/8/24	埼玉県 熊本県	劇物	イソキサチオ ン (30%) メソミル (15%)	段ボール箱を開封したところ、中の 包装袋が破れ、イソキサチオンとメ ソミルの粉が漏れていた。	販売業 (一般)	夏季の高温下で保管したた め、ガスが発生して包装袋の 破袋が起こった。	健康被害なし。
34	2007/8/1	埼玉県	劇物	EPN (1.5%)	交通事故によりEPN乳剤が道路側 溝に漏洩した。	業務上取扱者 (届出不要)	交通事故のため。	特になし
35	2007/8/2	愛知県	劇物	硝酸	発煙硝酸の配管にピンホールが生 じ、約10リットルの発煙硝酸が工場 内に漏出した。	製造業 (国)	配管の老朽化。	特になし
36	2007/8/3	長野県	劇物	ホルムアルデ ヒド (4.5%)	タンクから防液堤に漏れた劇物を回 収する際にホルムアルデヒド (4.5%)約400リットルを河川に通じ る排水溝に放流した。	業務上取扱者 (届出不要)	作業マニュアル不徹底。	特になし

平成19年度
毒物又は劇物の流出・漏洩事故情報一覧

整理 番号	発生年月日	発生都道 府県名	毒物又 は劇物 の別	毒物又は劇 物の名称	事件の概要	事件発生事業所等 の登録等の状況	事件の原因 (推定含む)	被害状況
37	2007/8/5	山口県	毒物	ホスゲン	停電により停止した施設の点検を行っていたところ、従業員2名が配管等内部に残っていたホスゲンを吸入した。	製造業 (国)	保護具を未着用の上、点検するポンプ周辺のバルブの確認が不十分だったため。また、ホスゲンが付着した作業着を速やかに交換しなかったため。	作業員2名が肺水腫による入院
38	2007/8/8	福島県	劇物	クロルスルホン酸	都内の輸入業者が輸入したクロルスルホン酸を20トンタンクコンテナで福島県の工場へ運搬し、工場内でコンテナにフレキシブルホースをつなぎ、加圧した際にコンテナの受入コックとホースのフランジ部分からクロルスルホン酸が滲み出た。	業務上取扱者 (届出不要)	フランジ部分に取り付けてあったテフロンパッキンが劣化していたため。	特になし
39	2007/8/8	群馬県	劇物	水酸化ナトリウム (35%)	5トンタンクに入っていた水酸化ナトリウム(35%、1300リットル)を、別の2トンタンクに移し替える際に、2トンタンクの底部が変形・転倒し、当該劇物が構内ピットに全量漏洩した。	業務上取扱者 (届出不要)	作業中の取扱いミス及び漏洩・流出防止対策の未整備。	特になし
40	2007/8/8	千葉県	劇物	アンモニア (25%)	アンモニア水(25%)の貯槽(20キロリットル)の抜き出しノズルが破損し、約7,380リットルが防液堤外の周辺土壌及び排水溝へ流出した。	製造業 (都道府県) 販売業 (一般)	貯槽の老朽化	特になし
41	2007/8/24	埼玉県	劇物	水酸化ナトリウム	タンクローリーから貯蔵タンクへ送液する際、接合部が外れ水酸化ナトリウム溶液が流出した。	業務上取扱者 (届出不要)	連結部分の締め付け不足	作業員2名が医療機関受診

平成19年度
毒物又は劇物の流出・漏洩事故情報一覧

整理 番号	発生年月日	発生都道 府県名	毒物又 は劇物 の別	毒物又は劇 物の名称	事件の概要	事件発生事業所等 の登録等の状況	事件の原因 (推定含む)	被害状況
42	2007/9/12	新潟県	劇物	水酸化ナトリ ウム (30%)	30%水酸化ナトリウムをタンクロー リーで運送中、当該製品が道路上 に1～2L漏洩した。	製造業 (国)	充填口バルブの締め付けが 不十分であったことによる。	特になし
43	2007/9/21	埼玉県	劇物	硝酸	貯蔵タンクのレベルゲージバルブが 破損し、硝酸が流出した。	業務上取扱者 (届出不要)	ゲージバルブが劣化していた ため。	特になし
44	2007/10/3	愛知県	劇物	水酸化ナトリ ウム (25%)	水酸化ナトリウムを移送するポンプ の振動により配管の継手部分に間 隙が生じており、その部分からポン プが作動していた30分間に約600 リットルが飛散した。	業務上取扱者 (届出不要)	配管の継手部分が老朽化し ていたため。	特になし
45	2007/10/5	千葉県	劇物	水酸化ナトリ ウム (48%)	貯蔵タンク(15立方メートル)をクレ ン車で移設中にタンクが破損し、約 3000～4000リットルが排水路へ流 出した。	業務上取扱者 (届出不要)	タンクの移設作業中に、タンク の錆びた底部等を傷つけたた め。	作業員1名が眼 に軽い負傷
46	2007/10/11	神奈川 県	劇物	無水クロム酸 (1～5%)	都内の輸入業者が輸入して神奈川 県内の保税倉庫に保管していた無 水クロム酸製剤の容器10缶のふた から中味が染み出していた。	輸入業 (国)	輸入先メーカーでの溶液の過 剰充てん及び輸送時の温度 変化による体積変化により染 み出たものと推定。	特になし
47	2007/10/12	岡山県	劇物	アンモニア	製氷業者が冷却用ラインの修理 中、バルブを誤って外したため、ライ ン中の液化アンモニアの蒸気が約1 時間漏洩し、修理を行っていた作業 員が負傷した。	業務上取扱者 (届出不要)	ラインのバルブを誤ってはず したため。	作業員1名が負 傷

平成19年度
毒物又は劇物の流出・漏洩事故情報一覧

整理 番号	発生年月日	発生都道 府県名	毒物又 は劇物 の別	毒物又は劇 物の名称	事件の概要	事件発生事業所等 の登録等の状況	事件の原因 (推定含む)	被害状況
48	2007/10/15	千葉県	劇物	硫酸 (98%)	貯蔵タンク(5立方メートル)の払出弁 前の破損したフランジ部分から、約 900リットルの硫酸が防液堤内へ漏 えいた。	業務上取扱者 (届出不要)	フランジ部分の補修時に、接 合パッキンをずれた状態で装 着したため、片締め等の外圧 により補修部分が傷ついたこ とによる。	特になし
49	2007/10/17	愛知県	劇物	塩酸	塩酸の配管の継手部分にピンホー ルが生じ、塩酸約20Lが工場内に漏 洩した。	製造業 (都道府県)	配管の継手部分の老朽化。	特になし
50	2007/10/18	静岡県	劇物	硝酸 (65%)	硝酸タンクと処理槽をつなぐバルブ を修理中、処理槽に流れず滞留し た硝酸約200ミリリットルが飛散し た。	業務上取扱者 (届出不要)	作業開始時に、下流のバルブ の開閉状態の確認を怠った。	人的被害:作業 員が顔及び首に 火傷を負った。 周辺被害:なし
51	2007/10/26	岡山県	劇物	アンモニア	液化アンモニアをの受入れ準備作 業におけるリークテスト時に、タンク ローリーと貯蔵タンクを接続した短 管の接続部からアンモンアガスが 漏洩し、作業員1名が化学熱傷を 負った。	業務上取扱者 (届出不要)	アンモニアガス側配管の接続 不備。	作業員1名が化 学熱傷
52	2007/11/13	愛知県	劇物	塩酸 (35%)	タンクローリー車から塩酸を貯蔵タ ンクに注入し、作業終了後に空気を 送ったところ、タンク上部のマンホー ル蓋部に生じていた亀裂から塩酸 が霧状に飛散した。	業務上取扱者 (届出不要)	マンホール蓋部のパッキン部 ゴムが劣化していたため。	従業員1名が一 時意識を失った (その後の健康 上の問題はなし)
53	2007/11/4	福岡県	劇物	硫酸 (70%)	保管タンクのバルブから硫酸が漏 れ出し、河川に漏洩したもの。	製造業 (都道府県)	バルブが何らかの理由により 開栓したため。	特になし

平成19年度
毒物又は劇物の流出・漏洩事故情報一覧

整理番号	発生年月日	発生都道府県名	毒物又は劇物の別	毒物又は劇物の名称	事件の概要	事件発生事業所等の登録等の状況	事件の原因(推定含む)	被害状況
54	2007/11/21	高知県	劇物	クロルピクリン(80%)	トラックにてクロルピクリン(80%)20リットル入り48缶を運搬中に、荷台から3缶が道路上に落下し、うち2缶から約30リットルが交差点で流出した。	販売業(農業)	積載物が固定されていなかったため。	7名の軽症者が発生(眼痛)
55	2007/11/22	神奈川県	劇物	キシレン	工場内のパイプラインに穴が開き、キシレン(原体)80リットルが漏洩した。 (うち70リットルは回収された。)	製造業(国)	当該パイプラインが、管理帳簿上は使用していないことになっていたため、腐食が進行していたにもかかわらず補修が行われず、破損してしまっ	特になし
56	2007/12/3	岡山県	劇物	アンモニア(25%)	ボイラー水のpH調整用アンモニア水の配管からアンモニア水(25%)が漏洩した。	業務上取扱者(届出不要)	配管にピンホールが空いていたため。	特になし
57	2007/12/20	新潟県	劇物	塩酸(35%)	タンクローリーからタンクに塩酸(35%)を注入した後、残液を抜いていた時に、液抜き配管より分岐する配管から塩酸(35%)が約650リットル漏洩した。	製造業(都道府県)	タンクローリーの送液圧の増加によりタンク内の圧力が上昇したため。	特になし
58	2007/12/21	東京都	劇物	アンモニア	産業廃棄物の処理作業中に作業手順を誤りアンモニアガスが発生した。	製造業(国)	MSDS未確認のまま廃棄物を処理、複数の廃棄物が反応してガスが発生した。	作業員5名が病院へ搬送
59	2007/12/27	山口県	劇物	塩酸(35%)	プラント停止中に、別会社の塩酸の受入配管の伸縮管部が破損し、塩酸(35%)が約350リットル漏洩した。	製造業(国)	液封状態となった塩酸配管が気温の上昇とともに圧力が上昇し、ベローズ(伸縮管)部が破損したため。	特になし
60	2008/1/5	愛知県	劇物	フェノール	タンクローリー車のタンクに亀裂が発生し、タンク中のフェノール(原体)約10リットルが工場内で漏洩した。	製造業(都道府県)	荷降しの際の手順に誤りがあり、タンクに負圧がかかり亀裂が発生したため。	特になし

平成19年度
毒物又は劇物の流出・漏洩事故情報一覧

整理 番号	発生年月日	発生都道 府県名	毒物又 は劇物 の別	毒物又は劇 物の名称	事件の概要	事件発生事業所等 の登録等の状況	事件の原因 (推定含む)	被害状況
61	2008/1/9	東京都	毒物 (廃棄物)	無機シアン化 合物	めっき工場にて無シアン廃液10トン をタンクローリーに注入中、約100 リットルが漏洩し、側溝内へ流出し た。	業務上取扱者 (電気めっき業)	作業ミスによりオーバーフ ローしたため。	特になし
62	2008/1/12	愛知県	劇物	クロルフェナ ピル (10%) (有機シアン 化合物)	トラックで輸送中に荷崩れを起こし、 クロルフェナピル(10%)250mlが2 本落下し、路上に飛散した形跡があ った。	業務上取扱者 (届出不要)	トラックへの積載時の固定が 不足していたため。	特になし
63	2008/1/16	千葉県	劇物	クロロホルム	貯蔵タンク(498立方メートル)から、 タンク基礎部のアスファルトに流出 した。 (流出量は不明。)	販売業 (一般)	タンク設備の不具合のため。	特になし
64	2008/1/17	高知県	劇物	塩酸	廃水処理施設に中和用の塩酸が多 量に流入したため、オーバーフロー し、河川に流出した。 (流出量は不明。)	業務上取扱者 (届出不要)	pH監視装置が作動せず、 オーバーフローをおこしたた め。	特になし
65	2008/1/23	滋賀県	劇物	硫酸 (50%)	廃水処理施設に硫酸を含む強酸性 の廃水が多量に流入したためオー バーフローし、河川に流出した。	業務上取扱者 (届出不要)	pH監視装置が作動せず、 オーバーフローをおこしたた め。	特になし
66	2008/1/24	山口県	劇物	アンモニア	アンモニアガス配管を塗装作業中、 配管に穴が開き、そこからアンモニ アガスが漏洩した。	製造業 (国)	配管の老朽化が進んでおり、 塗装作業によって穴があいた 可能性が高いと考えられる。	作業員1名がガ ス吸引による軽 傷
67	2008/2/18	愛知県	劇物	水酸化ナトリ ウム (30%～ 48%)	屋外タンクのバルブより水酸化ナト リウム約3立方メートルが流出し、コ ンクリート床の破損部から雨水排水 路を通じて河川に流出した。	業務上取扱者 (届出不要)	タンクのバルブの閉め忘れ。	河川の汚染

平成19年度
毒物又は劇物の流出・漏洩事故情報一覧

整理 番号	発生年月日	発生都道 府県名	毒物又 は劇物 の別	毒物又は劇 物の名称	事件の概要	事件発生事業所等 の登録等の状況	事件の原因 (推定含む)	被害状況
68	2008/2/20	東京都	毒物	無機シアン化 合物	シアンメッキ洗浄液を貯留槽からタンクローリーに移す際にオーバーフローを起こして流出した。	業務上取扱者 (電気めっき業)	作業ミスによりオーバーフローしたため。	特になし
69	2008/2/21	大阪府	劇物	珪弗化ナトリ ウム	珪弗化ナトリウム(99%以上)25kg入り袋が破損し、粉体1kg程度が道路上に漏洩した。	不明	不明	特になし
70	2008/2/22	埼玉県	劇物	フェンチオン (法別表第2 46号)	フェンチオンで死んだと見られるカラスの死骸が見つかった。	不明	不明	特になし
71	2008/2/22	埼玉県	劇物	アンモニア	フリーザーストレナーの点検の際、ストレーナーの取付け不備に気づかず、アンモニアガスバルブを開いたためアンモニアが漏洩した。	業務上取扱者 (届出不要)	ストレーナーの取付け不備	作業員1名が医療機関受診
72	2008/3/1	大阪府	毒物	弗化水素	変電所からの送電の瞬間的な低下により設備の稼働が停止した際、制御装置が設備の停止を感知しなかったため、当該設備の一部に残っていた弗化水素約750kgが屋外に流出した。	製造業 (国)	電圧の瞬間的な低下による制御装置の作動不備。	隣接事業所の社員約20名程度が目やのどに痛みを訴え医療機関受診(結果は異常はなし)。
73	2008/3/1	兵庫県	劇物 (疑い)	塩素 (疑い)	浄水場の改築工事中、パワーショベルで地中に埋まっていた所有者不明の使用済みポンペを破損し、塩素ガスと推定されるガスが漏洩した。ポンペの色や漏れたガスから塩素と推定されるが、ポンペの腐食等が激しく詳細の確認には至らなかった。	業務上取扱者 (届出不要)	不明	作業員5名がガスを吸入し、医療機関を受診

平成19年度
毒物又は劇物の流出・漏洩事故情報一覧

整理 番号	発生年月日	発生都道 府県名	毒物又 は劇物 の別	毒物又は劇 物の名称	事件の概要	事件発生事業所等 の登録等の状況	事件の原因 (推定含む)	被害状況
74	2008/3/7	東京都	劇物	ナトリウム	大学研究室にて学生がナトリウムを廃棄する際に、エタノールを加えて不活性化したが、反応が遅いために水を加え、再度エタノールを加えたところ発火した。	業務上取扱者 (届出不要)	廃棄手順の誤り。	学生1人が全身火傷を負い重傷
75	2008/3/10	埼玉県	劇物	メソミル	メソミルで死んだと見られるムクドリ の死骸が見つかった。	不明	不明	特になし
76	2008/3/11	三重県	毒物	弗化水素 (55%)	パイプサポートの取り付け不良及び配管の接合施工不良により、バルブ間の接合部位が抜け、弗化水素酸(55%)が漏洩した。さらに、防液堤の水抜きバルブが常時開口された状態になっていたため弗化水素酸を含んだ排水が海へ流出した。	製造業 (国)	作業手順の遵守を怠ったため。	特になし
77	2008/3/28	福井県	劇物	塩化水素	塩化ホスホリルをタンクローリーから貯蔵タンクに移送している最中に、塩化ホスホリルがオーバーフローを起こして水と反応して塩化水素が発生し、塩化水素数十キログラムが流出した。	製造業 (都道府県)	作業手順の誤りによるオーバーフローのため。	作業員1名が塩化水素水溶液の飛沫を浴び軽傷